

甲陽病院経営改善計画実績評価

資料 4

No.	項目	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標		R1年度の分析	R2年度の具体的な動き
1	一般病床の病床利用率(%)							
	許可病床(86床)	58.7	57.9	59.1	59.5		<p>令和2年4月より、院長、総看護師長、各病棟部長、医事課長がメンバーとなり、最適で効率的なベッドコントロールについて、平均在院日数の短縮、病床稼働率の向上及び感染症発生リスクの低下、入院支援をはかるために、週2回(月・木)、外来診療前に病床ワーキングを実施している。</p> <p>また、入院経路のひとつである救急患者の受入を強化するため、救急車の応需体制を変更し、医療者と救急隊員との直接対話による受け入れ態勢を令和2年6月より実施している。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、院内感染対策を強化し、発熱患者の受入を積極的に実施している。</p>	
	稼働病床(60床)	84.0	83.0	84.7	85.1			
(参考) 1日平均患者数	50.4	49.8	50.8	51.1				
療養病床の病床利用率(%)		72.6	70.1	78.3	85.3		<p>療養病床については、順調に増加傾向を示しているが、目標を達成できなかった。療養病棟については、冬季の在宅療養が困難な患者や、感染症に罹患した施設入所者についてのニーズが高い。一方で、初夏や秋口など、過ごしやすい季節に患者数が減少する傾向にあるため、当該時期の患者数の増加が課題である。</p> <p>【1日平均患者数】                      H29年度 上半期 51.3人 下半期 49.6人                      H30年度 上半期 49.1人 下半期 53.5人                      R元年度 上半期 47.3人 下半期 54.9人</p>	
	(参考) 1日平均患者数	23.2	22.4	25.0	27.3			
2	患者数(人)	91,892	92,256	91,794	93,617		<p>目標には及ばないが、令和2年1月までは前年度を若干上回る状況であった。2月以降新型コロナウイルス感染症の影響で医療環境が激変し、来院患者が大幅に減少する中で前年度を下回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、院内感染対策を強化し、発熱患者の受入を積極的に実施している。</p>
3	患者1人1日当たり診療収入(円)	13,785	13,756	13,959	14,276		<p>平均在院日数短縮による入院単価の向上、透析患者受入増による外来単価の向上により単価は増加傾向にある。</p>	<p>入院単価及び外来単価は上昇しており、引き続き、病床ワーキングのベッドコントロールを行い、平均在院日数の短縮を図り、患者1人1日当たりの診療収入の増加を図っていく。</p>
4	医業収支比率(%)	88.5	86.4	86.7	87.5		<p>経費削減の一環として薬品の後発医薬品への変更、診療材料の安価同等品への切替による材料費の縮減が図られ、医業収支比率は改善傾向にある。ただし、職員の新陳代謝が図られないため人件費については、増加傾向にあるため医業収益の増加をカバーする費用削減が出来なかった。なお、収入と人件費が見合わない2名の非常勤医師には、令和2年3月末で退職していただき、逆に地域に診療科がない婦人科に力を注ぎ、対前年比168.5%となり、非常勤医師をフル回転させている。</p>	<p>修繕費用が高額となる古い機器の入替を図り、保守費用の縮減を図っていく。人件費については、地域の医療機関としての役割を果たしつつ、働き方改革による休日の取得や勤務時間の制限などの課題を一つひとつ整理しつつ、今後検討していく。</p> <p>なお、非常勤医師の中で、婦人科の外来受診者数が4月～8月で対前年比131.2%の増となっており、引き続き、医療ニーズを捉えていく必要がある。</p>
5	患者満足度(全体)における「満足+やや満足」の割合(%) ※入院・外来の平均	—	68.1	72.5	75.0		<p>入院患者及び外来患者の満足度の項目のいずれも、「非常に満足」、「やや満足」の比率が上昇している。</p>	<p>高齢者のニーズが高い循環器・呼吸器内科は、診療時間が限られた非常勤医師が対応しているが、初診は検査が多く検査結果が次の診療日にならないようにするため、外来受付時間を午前11時30分から午前11時に切り上げ、初診日に検査結果が出せるようになり、同日に速やかな治療につなげることが出来るようになった。また、引き続き、職員一丸となって、満足度の上昇を目指していく。</p>
6	組織目標の職員への周知	—	—	—	—		<p>月1回開催される各部署の代表者による会議において目標数値と各月の実績を提示し、目標達成への意識付けを図った。</p>	<p>令和2年4月から病院の基本方針の1つに「医療の質と合理的で健全な病院経営の両立」を定め、職員から様々な意見を吸い上げ、さらに経営参画への意識付けを図っていく。</p>
7	病床機能の変更の検討	—	—	—	—		<p>療養病棟のあり方について検討を始めた。</p>	<p>療養病棟の医療・介護の病床数比率の変更を行った。今後、療養病棟の入院状況を見ながら、介護医療院等への変更の是非等を検討していく。</p>